

目次

目次.....	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	8
はじめに.....	10
製品の特徴.....	10
パッケージ内容.....	11
製品の概要.....	12
メインユニット	13
コントロールパネル.....	13
接続ポート	14
リモートコントロール.....	15
インストール	16
プロジェクタを接続するには	16
プロジェクタの電源オン/オフ.....	18
プロジェクタの電源をオンにする	18
プロジェクタの電源をオフにする	19
警告インジケータ.....	19
投影された映像の調整	20
プロジェクタの高さを調整する	20
プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する	21
画面サイズと投射距離の目安.....	21
ユーザーコントロール	22
コントロールパネル & リモートコントロール	22
オンスクリーン・ディスプレイメニュー.....	25
操作方法	25
メニューツリー	26
言語	27
イメージ-I.....	28
イメージ-II（コンピュータモード）	30
イメージ-II（ビデオモード）	32
オーディオ.....	34
プロジェクション設定.....	35
ランプの設定	38
付録.....	39
トラブルシューティング	39
ランプの交換.....	43
互換モード	44
天井マウントの取り付け	45

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
--	---

●絵記号の意味

	この記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。
例) 	「感電注意」を表す絵表示
	この記号は禁止の行為(やってはいけないこと)を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例) 	「分解禁止」を表す絵表示
	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例) 	「電源プラグを抜く」を表す絵表示

安全上のご注意

注意

本製品は以下のようなところ(環境)で使用および保管をしないでください。

故障の原因となることがあります。



禁止

- 保温性・保湿性の高い(じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど)場所での使用(保管時は問題ありません)
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ(台所、浴室、水辺、海岸など)
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒーター、コンロなど)
- 強い磁力電波の影響を受けるところ(磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く)
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所
- 保温性・保湿性の高い(じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど)場所での使用(保管時は問題ありません)

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。



禁止

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしてしない



厳守

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。



厳守

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてしてください。

安全上のご注意



厳守

長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。



禁止

排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。



禁止

ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。



厳守

ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後1時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。



厳守

ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。



禁止

指定の電池(単4型乾電池)以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。



厳守

電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。



厳守

取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。(電池には+極と-極があります。)故障の原因となります。



注意

本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

安全上のご注意

警告



煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。



水濡れ禁止

本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。



厳守

本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。



禁止

本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔(レンズに向かって右側面と、背面)に吸いについて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。



禁止

本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。
火災の原因となることがあります。



厳守

温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。



分解禁止

改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。



禁止

本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物はいらないよう注意してください。



禁止

ぶつけたり、落したりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



禁止

使用中はレンズをのぞかないでください。
レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

安全上のご注意



禁止

リモコンのレーザー光を目にあてたり、人の目にあてたりしないでください。
目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラスIIレーザーが装備されています。



禁止

本製品は下記のようなところで使用しないでください。
故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。

- ほこりの多いところ
- 振動や衝撃の加わるところ
- 不安定なところ
- 通気孔(レンズに向かって右側面と、背面)がふさがるとこ
- 温度差の激しいところ
- 水分や湿気の多いところ
- 温度が高いところ



禁止

使用中や使用後は排気孔(レンズのある面)およびその回り、設置台が熱くなります。
やけどの原因になりますので、触らないでください。



厳守

ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。



禁止

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- 引っ張ったり、折り曲げたりしない
- 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない



厳守

電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。



厳守

電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

安全上のご注意



禁止

電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。

- 電池の液が目にはいたり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。



厳守

電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。



禁止

+) (－) を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。



厳守

電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。



禁止

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。



厳守



注意



発火注意

電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。



厳守

本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

使用上のご注意

設置場所について

本プロジェクターは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔(レンズに向かって右側面と背面)をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高音になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具(ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど)の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを十分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

使用上のご注意

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約2,000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに

製品の特徴

当製品は XGA シングルチップ 0.55" DLP™ プロジェクタです。
以下の優れた機能が搭載されています:

- ◆ リアル XGA, (1024 x 768 ピクセル)
- ◆ シングルチップダークChip2™ DLP™ テクノロジ
- ◆ NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM および HDTV 対応(480i/p, 576i/p, 720p, 1080i)
- ◆ マルチ自動機能:自動検出、自動画像および調整の自動保存
- ◆ リモートコントロール
- ◆ ユーザーフレンドリーな多言語オンスクリーン・ディスプレイメニュー
- ◆ キーストン補正と高画質スケーリング搭載
- ◆ ユーザーフレンドリーなコントロールパネル
- ◆ 内蔵スピーカー(x1) (2ワットアンプ搭載)
- ◆ SXGA+, SXGA圧縮およびVGA, SVGA リサイジング
- ◆ Apple Machintosh互換

パッケージ内容

本機には、以下のアイテムが含まれています。すべてのアイテムが揃っているかご確認ください。不足品がある場合には、ただちにお買い求めの販売店へご連絡ください。



レンズキャップ付き
プロジェクタ



1.8m 電源コード



1.8m VGAケーブル



1.8m コンポジット
ビデオケーブル



SCART RGB/Sビデオアダプ
タ (唯一のヨーロッパの使
用のため)



携帯用ケース



❖ 国により梱包されてい
るアイテムが異なります。



単四電池X2



リモコン

文書:

- ☒ ユーザーマニュアル
- ☒ クイック・スタート
- ☒ 保証書

電源コードについて注意事項:

1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様 (AC100V) になりますので、
海内での使用できません。

はじめに

製品の概要

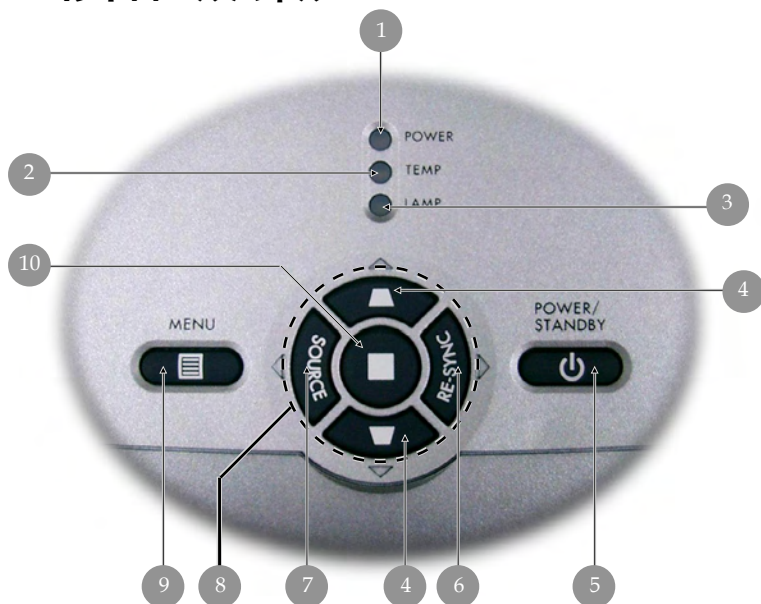
メインユニット



1. コントロールパネル
2. ズームレバー
3. フォーカスリング
4. 電源ソケット
5. エレベーターフット
6. エレベーターボタン
7. レンズ
8. 赤外線レシーバ
9. 接続ポート
10. 傾斜調整ホイール

はじめに

コントロールパネル

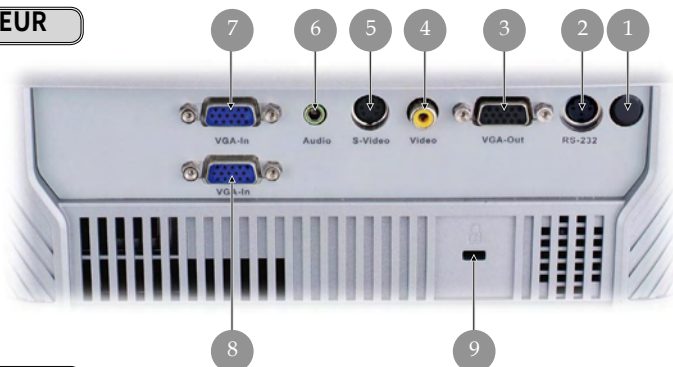


1. 電源インジケータLED
2. 温度警告LED
3. ランプ警告LED
4. 電源/スタンバイ
5. キーストン調整
6. リシンク
7. ソース
8. 4方向選択キー
9. メニュー(オン/オフ)
10. エンター

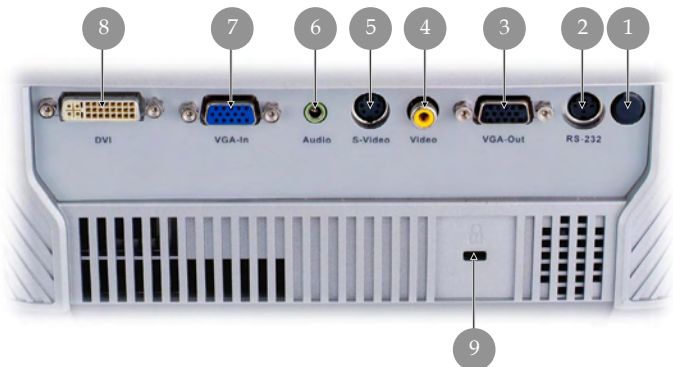
はじめに

接続ポート

EUR



USA



1. 赤外線レシーバ
2. リモートマウス用RS232コネクタ
3. モニタ出力コネクタ
4. コンポジットビデオ入力コネクタ
5. Sビデオ入力コネクタ
6. オーディオ入力コネクタ
7. PC アナログ信号/SCART RGB/HDTV/コンポーネントビデオ入力コネクタ
8. PC アナログ信号/HDTV/コンポーネントビデオ入力コネクタ
8. DVI-D入力コネクタ(HDCP付き)
9. Kensington™ ロックポート

EUR

USA

はじめに

リモートコントロール

EUR

1. 電源/スタンバイ
2. IR LED
3. Hide (ビデオミュート)
4. フリーズ
5. D-Zoom (Dズーム)
6. ディスプレイモード
7. メニュー (オン/オフ)
8. ケーストン調整
9. リシンク
10. 音量 (+)
11. 音量 (-)
12. リセット
13. エンター
14. 4方向選択キー

EUR

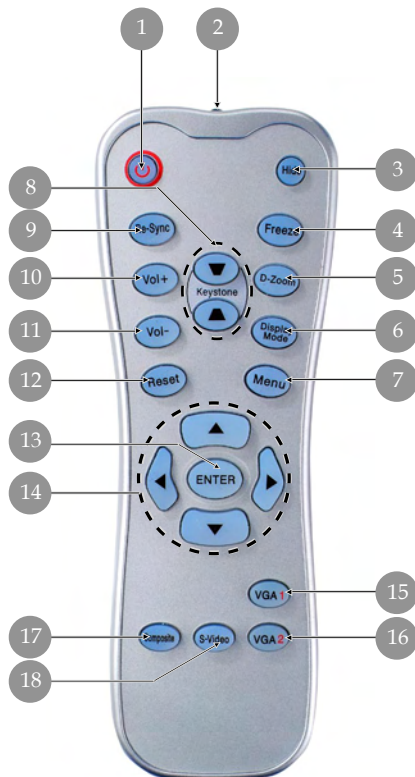
15. VGA1 ソース
16. VGA2 ソース

USA

15. DVI-D ソース
16. VGA ソース

17. コンポジットビデオ
18. S-Video ソース

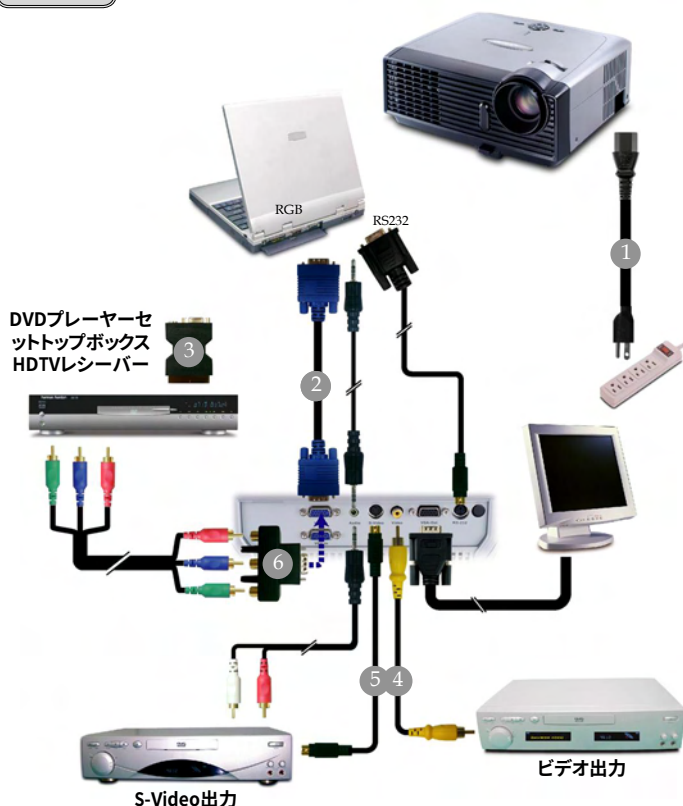
USA



インストール

プロジェクタを接続するには

EUR



❖ 国により梱包されてい
るアイテムが異なります。

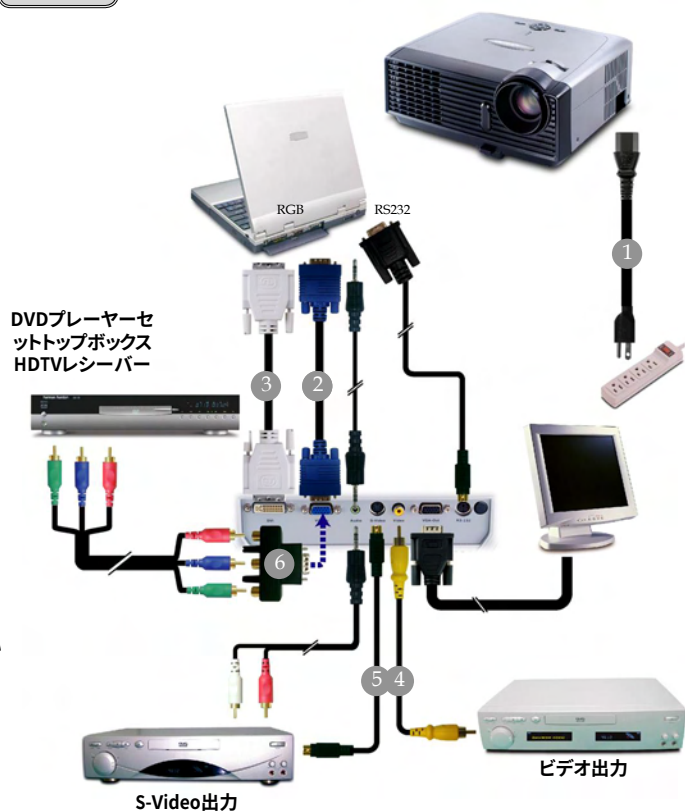
- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 |電源コード |
| 2 |VGAケーブル |
| 3 |SCART RGB/Sビデオアダプタ (ヨーロッパ市場だけ) |
| 4 |コンポジットビデオケーブル |
| 5 |S-Videoケーブル (オプション) |
| 6 |YPbPr用D-15- RCAアダプタ (オプション) |

❖ ご使用のコンピュータでプロジェクタを適切に操作できるよう、グラフィックカードのディスプレイモードを 1024 X 768 同等もしくはそれ以下に調整してください。グラフィックカードのリフレッシュレートがプロジェクタに対応しているかご確認してください。44ページの“互換モード”の項目をご参照ください。

インストール

プロジェクタを接続するには

USA



❖ 国により梱包されているアイテムが異なります。

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 |電源コード |
| 2 |VGAケーブル |
| 3 |DVI対DVIケーブル |
| 4 |コンポジットビデオケーブル |
| 5 |S-Videoケーブル (オプション) |
| 6 |YPbPr用D-15- RCAアダプタ (オプション) |

❖ ご使用のコンピュータでプロジェクタを適切に操作できるよう、グラフィックカードのディスプレイモードを 1024 X 768 同等もしくはそれ以下に調整してください。グラフィックカードのリフレッシュレートがプロジェクタに対応しているかご確認ください。44ページの“互換モード”の項目をご参照ください。

インストール

プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源をオンにする

1. レンズキャップを取り外してください。❶
2. 電源コードと信号ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。電源LEDは緑で点滅します。
3. コントロールパネルの“電源/スタンバイ”ボタンを押して、ランプの電源を入れます。❷電源LEDは緑で点灯します。
初めてプロジェクタを使用する場合、起動画面が表示された後、クイックメニューから言語を選択してください。
4. ご利用のソース(コンピュータ、ノートブック、ビデオプレーヤー等…)の電源を入れてください。プロジェクタがソースを自動検出します。

❖ 複数のソースが同時に接続されている場合は、コントロールパネルの“ソース”ボタンで切り換えを行ってください。

言語を選択

言語の選択

English

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

繁體中文

简体中文

日本語

한국어

Русский

Nederlands

Polski

Suomi

Enterを押して設定



❖ ソースの電源を入れる前に、プロジェクタの電源を入れてください。



インストール

プロジェクトの電源をオフにする

1. “Power/Standby (電源/スタンバイ)” ボタンを押してプロジェクトをオンにすると、



というメッセージがプロジェクトの画面に表示されます。“Power/Standby (電源/スタンバイ)” ボタンをもう一度押すと確認されます。押さない場合、5 秒後にメッセージは消えます。

代わりに▶ キーが押す場合、プロジェクトは“ビデオミュート”に入り、画像は表示されません。“ビデオミュート”を終了するには、“電源/スタンバイ” ボタンをもう一度押してください。

2. 冷却ファンが冷却サイクルを実行し約30秒間動作し、電源LEDが緑になります。LEDが点滅を開始したら、プロジェクトはスタンバイモードに入っています。

プロジェクトを再びオンにしたい場合、プロジェクトが冷却サイクルを完了しスタンバイモードに入るまで待たなければなりません。スタンバイモードに戻りましたら、“電源/スタンバイ” ボタンを押して、プロジェクトを再起動してください。

3. 電源コンセントとプロジェクトから電源コードを抜きます。

警告インジケータ

- ❖ “Lamp”インジケータが赤く点灯すると、プロジェクトは自動的にシャットダウンします。その場合は、お買い求めになった販売店またはサービスセンターへご連絡ください。41~42ページをご覧ください。
- ❖ “TEMP”インジケータが約60秒間赤く点灯すると、プロジェクトが過熱していることを示します。というメッセージが表示され、プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通常の状態では、プロジェクトは冷却サイクルを完了してから、再度電源入れて使用することができますが、もし問題が解決しない場合は、お買い求めになった販売店またはサービスセンターへご連絡ください。41~42ページをご覧ください。
- ❖ “TEMP”インジケータが約5秒間赤く点滅すると、というメッセージが表示されます。その場合は、お買い求めになった販売店またはサービスセンターへご連絡ください。41~42ページをご覧ください。

インストール

投影された映像の調整

プロジェクタの高さを調整する

プロジェクタには、高さを調整するためのエレベーターフットが付いています。

プロジェクタを高くする:

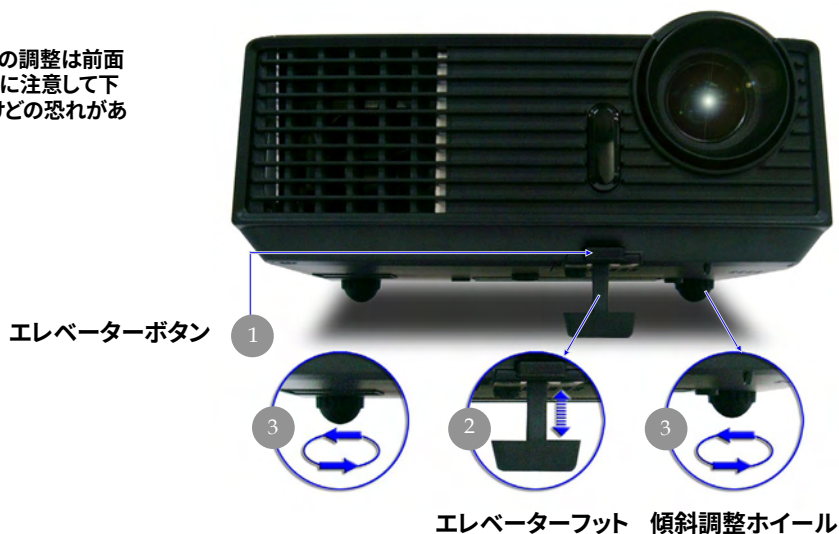
1. エレベーターボタンを押してください ❶。
2. プロジェクタを好みの表示角度まで上げ ❷, ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。
3. ❸を使って投影角度を調整してください。

プロジェクタを低くする:

1. エレベーターボタンを押してください。
2. プロジェクタを下げ、ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。
3. ❸を使って投影角度を調整してください。



❖ 投影後の調整は前面の排気口に注意して下さい。やけどの恐れがあります。



インストール

プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する

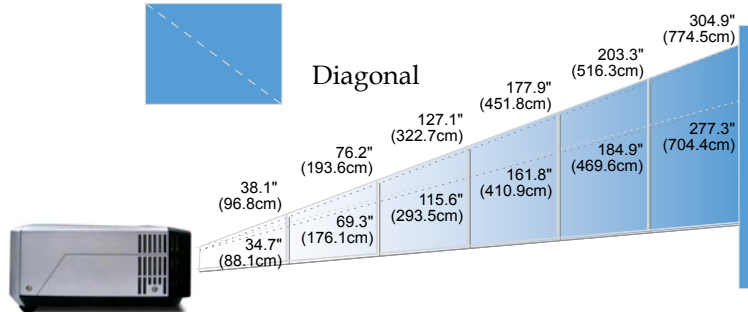
[ズームレバー]を入れて、ズームイン、ズームアウトすることができます。画像のフォーカスを合わせるには、画像が鮮明になるまで[フォーカスリング]を回転させてください。プロジェクタは、機械的移動装置を使用して1.5～12.0メートルの範囲内で焦点を合わせます。



ズームレバー

フォーカスリング

画面サイズと投射距離の目安



※ 1 フィート=0.3m、1
インチ=2.54 cm

スクリーン対 角線	Max.	38.1"(96.8cm)	76.2"(193.6cm)	127.1"(322.7cm)	177.9"(451.8cm)	203.3"(516.3cm)	304.9"(774.5cm)
	Min.	34.7"(88.1cm)	69.3"(176.1cm)	115.6"(293.5cm)	161.8"(410.9cm)	184.9"(469.6cm)	277.3"(704.4cm)
画面サイズ	Max.(WxH)	30.5" x 22.9" (77.4 x 58.1cm)	61.0" x 45.7" (154.9 x 116.2cm)	101.7" x 76.3" (258.2 x 193.6cm)	142.3" x 106.7" (361.4 x 271.1cm)	162.6" x 122.0" (413.0 x 309.8cm)	243.9" x 182.9" (619.6 x 464.7cm)
	Min.(WxH)	27.8" x 20.8" (70.5 x 52.9cm)	55.4" x 41.6" (140.9 x 105.7cm)	92.5" x 68.4" (234.8 x 176.1cm)	128.4" x 97.1" (328.7 x 246.5cm)	147.9" x 110.9" (375.7 x 281.8cm)	221.8" x 166.4" (563.5 x 422.6cm)
投射距離		4.9'(1.5m)	9.8'(3.0m)	16.4'(5.0m)	23.0'(7.0m)	26.3'(8.0m)	39.4'(12.0m)

ユーザーコントロール

コントロールパネル & リモートコントロール

機能を調整する方法には:リモートコントロールまたはコントロールパネルの2通りがあります。

コントロールパネル



リモートコントロール



コントロールパネルを使うには 電源/スタンバイ

- ▶ 18～19ページの“プロジェクタの電源オン/オフ”の項をご参照ください。

Source(ソース)

- ▶ “Source(ソース)”ボタンを押すと順番に入力ソースを検出します。(RGB、コンポーネント-p、コンポーネント-i、S-Video、コンポジットビデオ、HDTV)。

Menu(メニュー)

- ▶ “Menu(メニュー)”ボタンを押すとオンスクリーン・ディスプレイ(OSD)メニューを開きます。OSDを終了するには、もう一度“メニュー”ボタンを押してください。

Keystone(キーストン) ▼ / ▲

- ▶ Keystoneの“▼ / ▲”のボタンでプロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。(±15°)

4方向選択キー

- ▶ ◀ ▶ ▼ ボタンを押して、アイテムの選択や選択内容の調整します。
▼はエンターボタンとしても使用されます。

Enter(エンター)

- ▶ アイテムの選択内容を確認します。

Re-Sync (リシンク)

- ▶ 自動的にプロジェクタの入力ソースを選びます。

ユーザーコントロール

リモートコントロールを使うには

電源

- ▶ 18～19ページの“プロジェクトの電源オン/オフ”の項をご参照ください。

Re-Sync (リシンク)

- ▶ 自動的にプロジェクトの入力ソースを選びます。

Vol+/Vol-(音量 +/-)

- ▶ スピーカーの音量を上げ下げします。

リセット

- ▶ 工場出荷時の既定値を変更します。

Hide(ハイド)

- ▶ “Hide”は再生中の映像を遮断します。“Hide”を再び押すと再生中の映像を投射します。

Keystone(キーストン)

- ▶ “Keystone”のボタンでプロジェクトの傾きによって起こるゆがみを調整します。(±15°)

Freeze(フリーズ)

- ▶ “Freeze(フリーズ)”ボタンを押して、映像を静止します。

D-Zoom(Dズーム)

- ▶ “D-Zoom”(Dズーム)ボタンを押すと、画面がズームインします。

Display Mode(ディスプレイモード)

- ▶ PC、Movie(ムービー)、Game(ゲーム)、sRGB、User(ユーザー)からディスプレイモードを選択します。

4方向選択キー

- ▶ ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを押して、アイテムの選択や選択内容の調整します。▼ はエンターボタンとしても使用されます。

Enter(エンター)

- ▶ アイテムの選択内容を確認します。

Menu(メニュー)

- ▶ “Menu(メニュー)”ボタンを押すとオンスクリーン・ディスプレイ(OSD)メニューを開きます。OSDを終了するには、もう一度“メニュー”ボタンを押してください。

ユーザーコントロール

EUR

VGA 1

- ▶ “VGA1” を押すと、VGA1コネクタから入力を選択できます。

EUR

VGA 2

- ▶ “VGA2” を押すと、VGA2コネクタから入力を選択できます。

S-Video (Sビデオ)

- ▶ “S-Video” を押してSビデオコネクタから入力を選択できます。

Composit (コンポジット)

- ▶ “Composite” を押すと、コンポジットコネクタから入力を選択できます。

USA

VGA

- ▶ “VGA” を押すと、VGAコネクタから入力を選択できます。

USA

DVI-D

- ▶ “DVI-D” を押すと、DVI-Dコネクタから入力を選択できます。

ユーザーコントロール

オンスクリーン・ディスプレイメニュー

プロジェクタには、多言語オンスクリーン・ディスプレイ(OSD)メニューが装備されており、映像調整や様々な設定が可能です。

操作方法

1. OSDメニューを表示するには、リモートコントロールまたはコントロールパネルの“Menu(メニュー) (目)”ボタンを押してください。
2. OSDが表示されたら、◀▶キーを押してメインの項目を選択します。特定のページで選択を行うには、“Enter(エンター) (目) / ▼”ボタンを押して、サブメニューに入ります。
3. 指定項目(サブメニュー)を選択する際は ▲ ▼ ボタンを押して選択し、▲ ▼ ◀▶ ボタンでアイテムの選択もしくは、設定を調整します。
4. “Menu(メニュー) (目)”ボタンを再度押すとメインメニューに戻ります。この時、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。
5. OSDを終了するには、もう一度 “Menu(メニュー) (目)”ボタンを押してください。



ユーザーコントロール

メニューツリー



ユーザーコントロール

イメージ - I	イメージ - II	オーディオ
言語	プロジェクション設定	ランプ設定
English		Português
Français		Suomi
Deutsch		Nederlands
Italiano		简体中文
Español		繁體中文
Русский		日本語
Polski		한국어

言語

言語

OSDは多言語で表示することができます。▲ または ▼ ボタンで好みの言語を選択してください。

最後に“Enter(エンター)”ボタンを押して選択を確定してください。

ユーザーコントロール



イメージ-I

Display Mode (ディスプレイモード)

さまざまなタイプの画像に対して最適のすうちをプリセットされています。

- ▶ PC:PCアプリケーションなどの映像
- ▶ Movie:DVDなどの映画素材の映像
- ▶ ゲーム:ゲーム用。
- ▶ sRGB:PC標準カラー用
- ▶ User (ユーザー):ユーザー調整可能な設定の場合。

明るさ

画像の明るさを調整します。

- ▶ ◀を押すと画像が暗くなります。
- ▶ ▶を押すと画像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像の明るい部分と暗い部分の差異を調整します。

コントラストを調整すると、画像の白黒要素が変化します。

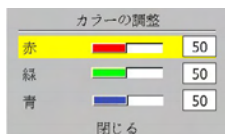
- ▶ ◀を押すとコントラスト値が減少します。
- ▶ ▶を押すとコントラスト値が増加します。

キーストン

プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。(±15°)

カラーの調整

「Enter」を押すと、赤、緑、青色を調整できます。



ユーザーコントロール

ホワイトレベル

画像に含まれる白色の度合いを調整します。0は最小ピーキングを、10は最大ピーキングを示します。画像をより強調したい場合は、最大設定の方向へ調整してください。また、滑らかでより自然な画像にしたい場合は、最小設定の方向へ調整します。

色温度

色温度を調整します。「温度」設定が高くなると画面は寒色が強くなり、「温度」が低くなると暖色が強くなります。

ユーザーコントロール

言語	プロジェクション設定	ランプ設定
イメージ-I	イメージ-II	オーディオ
周波数		30
位相		30
水平位置		30
垂直位置		30
ガンマの調整		3
アスペクト比		4:3
16:9画像位置	Enterを押して設定	

イメージ-II (コンピュータモード)

周波数

“周波数”は、コンピュータグラフィックカードの周波数に合わせて、ディスプレイデータ周波数を変更するためのものです。縦のちらつき線がある場合には、この機能を使って調整を行ってください。

位相

ディスプレイの信号タイミングをグラフィックカードの信号タイミングに同期化する場合、“位相”を選択します。画像が不安定またはちらつく場合にも、トラッキング機能を使って修正します。

水平位置

- ▶ ◀を押して、イメージを左へ移動させます。
- ▶ ▶を押して、イメージを右へ移動させます。

垂直位置

- ▶ ◀を押して、イメージを下へ移動させます。
- ▶ ▶を押して、イメージを上へ移動させます。

ガンマの調整

微調整されたガンマカーブを選択し、入力に対して最高の画像品質を提供します。

アスペクト比

この機能は、お好みのアスペクト比に合わせてお選びいただけます。

- ▶ 4:3: 入力ソースはプロジェクション画面にフィットするように拡大縮小されます。
- ▶ 16:9: 入力ソースは、画面の幅にフィットするように拡大縮小されます。
- ▶ ウィンドウ: 4:3画像が16:9画面より大きくなるときの、「ウィンドウ」モードを選択すると、プロジェクタの距離を変更することなしに画像を画面にフィットさせることができます。

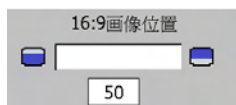
ユーザーコントロール



オリジナルの入力



ウィンドウ



16:9画像位置

16:9のアスペクト比を選択しているとき、画像の位置を上または下に調整することができます。

- ▶ ◀を押して、イメージを下へ移動させます。
- ▶ ▶を押して、イメージを上へ移動させます。



❖ 16:9画像位置: ウィンドウモードの画像位置もそれに従って移動します。

ユーザーコントロール

言語	プロジェクション設定	ランプ設定
イメージ-I	イメージ-II	オーディオ
ガンマの調整		3
色の濃さ		30
色合い		30
シャープネス		30
アスペクト比: 16:9画像位置	 Enterを押して設定	4:3

イメージ-II (ビデオモード)

ガンマの調整

微調整されたガンマカーブを選択し、入力に対して最高の画像品質を提供します。

色の濃さ

カラー設定では、ビデオ映像を白黒から彩度のあるフルカラーへ調整します。

- ▶ ◀を押すとビデオ映像の彩度が減少します。
- ▶ ▶を押すとビデオ映像の彩度が増加します。

色合い

色合いは赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ▶ ◀を押すとイメージの緑色の要素が増加します。
- ▶ ▶を押すとイメージの赤色の要素が増加します。

シャープネス

映像の鮮明度を調整します。

- ▶ ◀を押すと鮮明度が下がります。
- ▶ ▶を押すと鮮明度が上がります。

アスペクト比

この機能は、お好みのアスペクト比に合わせてお選びいただけます。

- ▶ 4:3: 入力ソースはプロジェクション画面にフィットするように拡大縮小されます。
- ▶ 16:9: 入力ソースは、画面の幅にフィットするように拡大縮小されます。
- ▶ ウィンドウ: 4:3画像が16:9画面より大きくなるとき、「ウィンドウ」モードを選択すると、プロジェクタの距離を変更することなしに画像を画面にフィットさせることができます。



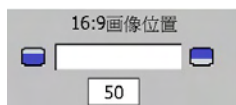
※「色の濃さ」、「色合い」、「シャープネス」機能はDVI-Dモードではサポートされていません。



オリジナルの入力



ウィンドウ



16:9画像位置

16:9のアスペクト比を選択しているとき、画像の位置を上または下に調整することができます。

- ▶ ◀を押して、イメージを下へ移動させます。
- ▶ ▶を押して、イメージを上へ移動させます。



❖ 16:9画像位置: ウィンドウモードの画像位置もそれに従って移動します。

ユーザーコントロール



オーディオ

音量

- ▶ ◀を押して、音量を下げます。
- ▶ ▶を押して、音量を上げます。

ミュート

- ▶ 左アイコンを選択するとミュートになります。
- ▶ 右アイコンを選択すると、ミュートが解除されます。

ユーザーコントロール



プロジェクトン設定

メニュー位置

メニューの位置をディスプレイの画面上で選択します。

投射方式

- ▶  フロントデスクトップ

工場出荷時の初期設定。

- ▶  リア-デスクトップ

この機能を選択すると、プロジェクタは反転した映像に表示することができ、半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

- ▶  フロント天吊り

この機能を選択すると、プロジェクタは映像の上下を逆にすることができるため、プロジェクタを天井に取り付けることができます。

- ▶  リア天吊り

この機能を選択すると、プロジェクタは反転した映像に表示し、更に上下を逆にすることができます。天井に取り付けたプロジェクタで半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

シグナルタイプ

信号タイプRGBまたはビデオソースを選択してください。

ソースロック

現在お使いの入力端子を固定することにより、再度、同じ信号を入力した際、ソースロックがオンになっているとき、指定の接続ポートを検索します。

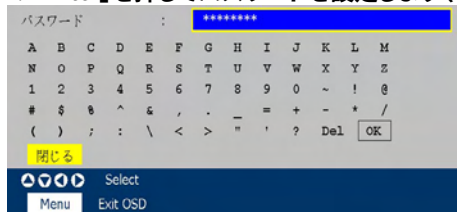
高海拔エリア

“オン(ON)”を選択すると天井取付時冷却モードがオンになり、プロジェクタを適切に冷却します。

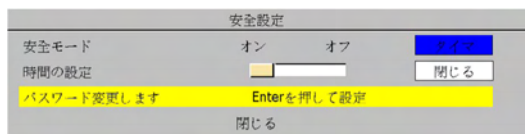
ユーザーコントロール

安全設定

A. 「Enter」を押してパスワードを設定します(初回時)。



1. パスワードは4~8ビットの間で入力できます。デフォルト値は「0000」です。
 2. 入力している間、「*」が画面に表示されます。
 3. ▲ ▼ ◀ ▶キーを使用して入力ビットを選択し、「Enter」キーを押して選択を確認します。
 4. **OK** に移動し、「Enter」キーを押して最終確認をします。
 5. この画面で、「Menu」(メニュー)キーを押して**OK** に直接ジャンプし、「Enter」キーを押して選択を確認します(「Menu」(メニュー)は現在の位置と**OK** の間で切り換わります)
 6. 入力エラーの時は、**Del** をポイントしてビットを削除します(「Menu」(メニュー)を押し、◀キーを押しても同じ結果が得られます)。
- B. 「Enter」を押して、セキュリティ保護を設定します。



▶ 安全モード

- オン: プロジェクタのスイッチをオンにしている間、「On」(オン)を選択してセキュリティ確認を使用します。
- オフ: パスワードを入力せずにプロジェクタのスイッチをオンにするとき。
- タイマ: プロジェクタのスイッチをオンにすると、使用可能な時間が表示されます。残り時間が0になると、タイムアウトメッセージが表示され、「Menu」(メニュー)または「Enter」を押して入力パスワードを選択します。

ユーザーコントロール

- ▶ 時間の設定: タイマーを選択しているとき、この機能を使用できます。
- ▶ パスワード変更します: 「Enter」を押してパスワードを変更します。

古いパスワード : *****

新しい パスワード : *****

パスワードの確認 : *****

A B C D E F G H I J K L M

N O P Q R S T U V W X Y Z

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ~ ! @

\$ % ^ & * - = + - * /

() ; : \ < > " ' ? Del OK

閉じる

Menu Exit OSD

1. 古いパスワードを入力します。
2. 新しいパスワードを変更します。
3. パスワードを確認します。新しいパスワードをもう一度入力してください。
4. パスワードは4~8ビットの間で入力できます。デフォルト値は「0000」です。
5. 入力している間、「*」が画面に表示されます。
6. ▲ ▼ ◀ ▶ キーを使用して入力ビットを選択し、「Enter」キーを押して選択を確認します。
7. **OK** に移動し、「Enter」キーを押して最終確認をします。
8. この画面で、「Menu」(メニュー)キーを押すと現在の位置、古いパスワード、新しいパスワード、パスワードの確認、**OK** の間で切り換わります。
9. 入力エラーの時は、**Del** をポイントしてビットを削除します(「Menu」[メニュー]を押し、◀ キーを押しても同じ結果得られます)。

ズーム

- ▶ ◀ を押すと、画像のサイズが縮小します。
- ▶ ▶ を押すと、プロジェクション画面の画像が拡大されます。

リセット

すべてのメニューの表示数値を工場出荷時の初期設定に戻す場合は“はい”を選択してください。

ユーザーコントロール

イメージ - I	イメージ - II	オーディオ
言語	プロジェクション設定	ランプ設定
ランプ使用時間	 	 300
ランプリセット	はい	<input checked="" type="button" value="いいえ"/>
ランプ警告	はい	<input checked="" type="button" value="いいえ"/>
ECOモード	オン	<input checked="" type="button" value="オフ"/>
オート パワー オフ(min)	 	 180

ランプの設定

ランプ使用時間

ランプの使用経過時間を表示します。

ランプリセット

新しいランプに交換した時にのみランプ設定をリセットしてください。

ランプ警告

「ランプの交換」時における警告メッセージの表示/非表示を切り換えるには、この機能を選択します。ランプの寿命が切れる 30 時間前に、メッセージが表示されます。

Ecoモード

“オン(ON)”を選択するとプロジェクタのランプが出力をおさえ、消費電力を抑え、ランプ寿命を 150% 延ばします。“オフ(OFF)”を選択すると、標準モードに戻ります。

オート パワー オフ(min)

信号入力がない場合、システムの電源をオフにする間隔を設定します(分単位)。

トラブルシューティング

プロジェクタにトラブルが発生した場合は、以下をご参照ください。それでも、問題が解決しない場合は、お買い求めになった販売店、またはサービスセンターへお問い合わせください。

問題:画面に何も表示されない。

- ▶ すべてのケーブルと電源コードが、インストールの項で説明されているように正しくしっかりと接続されているか確認してください。
- ▶ コネクタのピンが曲がっている、または壊れていないか確認してください。
- ▶ プロジェクションランプがしっかりと装着されているか確認してください。詳しくは、「ランプの交換」のページ項をご覧ください。
- ▶ レンズキャップが取り外されているか、プロジェクタの電源がオンになっているか確認してください。
- ▶ 「ハイド」機能がオンになっていないことを確認してください。

問題:イメージが一部しか表示されない、スクロールしてしまう、正しく表示されないなど。

- ▶ リモコンまたはコントロールパネルの「Re-Sync」(再同期)を押します。
- ▶ PCをご使用の場合、次の手順に従います:(コンピューター解像度がXGAの場合)

Windows 3.xの場合:

1. Windowsの「プログラママネージャ」で、「メイン」グループの「Windows セットアップ」アイコンをダブルクリックします。
2. 画面の解像度設定がXGAの場合は 1280 x 1024。

Windows 95, 98, 2000, XPの場合:

1. 「マイコンピュータ」アイコンをクリックし、「コントロールパネル」フォルダを開いて、「画面」アイコンをダブルクリックしてください。
2. 「設定」タブを選択してください。
3. 「デスクトップエリア」で解像度設定が確認できます。解像度設定がXGAの場合は 1280 x 1024。

プロジェクタがまだイメージ全体を投射できない場合は、ご使用になっているモニターの表示を変更する必要があります。以下の手順をご参照ください。

4. 前項の1-3に従ってください。次に、「詳細」ボタンをクリックしてください。
5. 詳細タブを押す。「モニター」タブで、「変更」ボタンを選択してください。
6. 製造元のボックスで「標準モニターの種類」を選択選択してください。次に「モデル」のボックスで必要な解像度モードを選択してください。
7. 解像度設定がXGAの場合 1280 x 1024.

▶ ノート型を使用している場合:

1. まず上記のコンピュータ解像度設定の手順通りに操作してください。
2. トグル出力設定を押します。例:[Fn]+[F4]

Compaq=>	[Fn]+[F4]	Hewlett	
Dell =>	[Fn]+[F8]	Packard =>	[Fn]+[F4]
Gateway=>	[Fn]+[F4]	NEC=>	[Fn]+[F3]
IBM=>	[Fn]+[F7]	Toshiba =>	[Fn]+[F5]
Mac Apple:			
システム優先 -> ディスプレイ -> 調整 -> ミラーディスプレイ			

- ▶ 解像度の変更が困難な場合や、モニターがフリーズしてしまう場合は、すべての機器とプロジェクションディスプレイを再起動させてください。その際は、プロジェクターの電源を先に入れてからパソコンを再起動して下さい。

問題:ノートブックまたはApple PowerBookコンピュータの画面が写らない。

▶ ノートブックPCを使用している場合:

ノートブックPCの中には、2台目のディスプレイ装置を使用していると、元の画面を無効にするものがあります。有効にする方法は、各機種によって異なります。詳細については、コンピュータのマニュアルを参照してください。

問題:画像が不安定、またはちらつく。

- ▶ “位相”を使って修正してください。
- ▶ コンピュータでモニターカラー設定を変更してください。

問題:イメージに縦のちらつき線がある

- ▶ “周波数”を調整してください。
- ▶ グラフィックカードのディスプレイモードを設定しなおし、互換性を改善してください。

問題:映像のフォーカスが合っていない。

- ▶ プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整してください。
- ▶ プロジェクション画面がプロジェクタから1.5m～12.0mの距離 にあるか確認してください。21ページをご覧ください。

問題:16:9再生時、全画面表示しない。

プロジェクタ本体は自動的に16:9を検出し、アスペクト比を調整します。

全画面表示しない場合は、下記を参考にアスペクト比を調整する必要があります。:

- ▶ 16:9 DVD をご覧になっている場合は、ご使用の DVD プレーヤー上で4:3アスペクト比を選択してください。
- ▶ ご使用のDVDプレーヤー上で4:3アスペクト比が選択できない場合は、プロジェクタのオン・スクリーン・ディスプレイ (OSD) で縦横比の 4 : 3 を選択してください。

問題:イメージが逆になっている。

- ▶ OSDから“プロジェクション設定->投影方式”を選択し、投影方式を調整します。

問題:ランプが焼き切れる、または小さな音がする。

- ▶ ランプの寿命が近づくと、焼き切れたり破裂音をさせたりすることがあります。このような場合、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタを使用できません。ランプを交換するには“ランプの交換”。

問題:LED照明メッセージ。

メッセージ	電源 LED 緑	Temp-LED	Lamp-LED
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点滅	○	○
点灯中	☀	○	○
加温中	☀	○	○
冷却中	☀	○	○
エラー(ランプエラー)	○	○	☀
エラー(熱エラー)	☀	☀	○
エラー(ファンロックエラー)	○	点滅	○
エラー(過熱)	○	☀	○

問題:メッセージ喚起。

▶ ファンロックエラー:

ファンのエラーです。
ランプはまもなく自動的に消えます。

▶ 過熱:

プロジェクタが過熱しています。
ランプはまもなく自動的に消えます。

▶ ランプの交換:

ランプの寿命が近づいています。
ランプを交換してください！

▶ パスワードエラー:

パスワードは正しくない
もう一度試してみてください

▶ 使用期限は過ぎました:

使用期限は過ぎました。どうぞ販売先と連絡してください

ランプの交換

プロジェクタはランプの寿命を自動検出し、

ランプの寿命が近づいています。

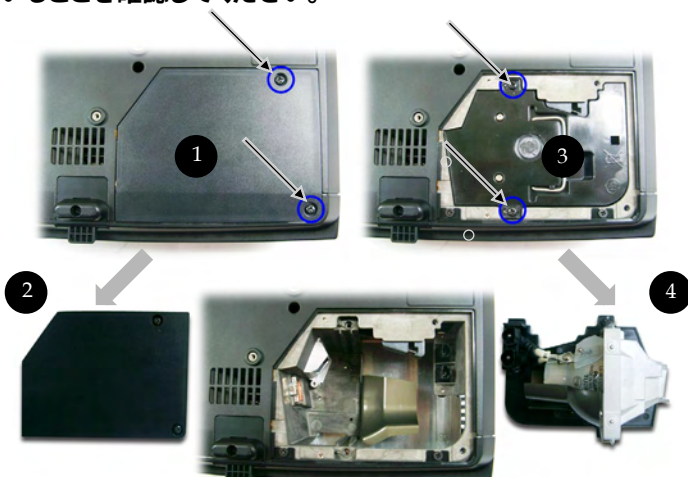
ランプを交換してください！



警告: ランプ部は熱くなっています! 熱が冷めてからランプを交換してください!

このメッセージが表示されたら、お近くの販売店やサービスセンターに連絡し、すぐにランプを交換してください。

少なくともランプを交換する30分前に、プロジェクタの余熱が冷めを確認してください。



警告: 人体に害を及ぼす危険がありますので、ランプモジュールを落としたり、ランプの電球に触れたりしないでください。電球が落ちると、破片が飛び、ケガをする恐れがあります。

ランプ交換の手順:

1. 電源/スタンバイ”ボタンを押し、プロジェクタの電源を切ってください。
2. 少なくとも60分は放置してプロジェクタの余熱を冷ましてください。
3. 電源コードを取り外してください。
4. ライバードライバーを使って、カバーからネジを外してください。①
5. カバーを押し上げて取り外します。②
6. ランプモジュールからネジ3本を外してください。③
7. ランプモジュールを引き出します。④

ランプモジュールを元に戻すには、前の手順を逆に行ってください。

互換モード

モード	解像度	(アナログ)		(デジタル)	
		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
VESA VGA	640 x 350	70	31.5	70	31.5
VESA VGA	640 x 350	85	37.9	85	37.9
VESA VGA	640 x 400	85	37.9	85	37.9
VESA VGA	640 x 480	60	31.5	60	31.5
VESA VGA	640 x 480	72	37.9	72	37.9
VESA VGA	640 x 480	75	37.5	75	37.5
VESA VGA	640 x 480	85	43.3	85	43.3
VESA VGA	720 x 400	70	31.5	70	31.5
VESA VGA	720 x 400	85	37.9	85	37.9
VESA SVGA	800 x 600	56	35.2	56	35.2
VESA SVGA	800 x 600	60	37.9	60	37.9
VESA SVGA	800 x 600	72	48.1	72	48.1
VESA SVGA	800 x 600	75	46.9	75	46.9
VESA SVGA	800 x 600	85	53.7	85	53.7
VESA XGA	1024 x 768	60	48.4	60	48.4
VESA XGA	1024 x 768	70	56.5	70	56.5
VESA XGA	1024 x 768	75	60.0	75	60.0
VESA XGA	1024 x 768	85	68.7	85	68.7
* VESA SXGA	1152 x 864	70	63.8	70	63.8
* VESA SXGA	1152 x 864	75	67.5	75	67.5
* VESA SXGA	1152 x 864	85	77.1	85	77.1
* VESA SXGA	1280 x 1024	60	63.98	60	63.98
* VESA SXGA	1280 x 1024	75	79.98	***	***
* VESA SXGA+	1400 x 1050	60	63.98	60	63.98
MAC LC 13"	640 x 480	66.66	34.98	***	***
MAC II 13"	640 x 480	66.68	35	***	***
MAC 16"	832 x 624	74.55	49.725	***	***
MAC 19"	1024 x 768	75	60.24	***	***
* MAC	1152 x 870	75.06	68.68	***	***
MAC G4	640 x 480	60	31.35	***	***
i MAC DV	1024 x 768	75	60	***	***
* i MAC DV	1152 x 870	75	68.49	***	***
* i MAC DV	1280 x 960	60	60.0	***	***



注:

1.[*]圧縮コンピュータ画像。

2.デジタルの列は、サポートDVI-Dコネクタです。

天井マウントの取り付け

1. プロジェクタの損傷を防ぐために、取り付けの際は天井マウントパッケージを使用してください。
2. サードパーティの天井マウントキットをご使用になる場合は、プロジェクタにマウントを取り付けるために使用するネジが次の仕様を満たしていることを確認してください。

- ▶ ネジのタイプ: M2.6
- ▶ ネジの最大長: 10mm
- ▶ ネジの最小の長さ: 8mm



※不適当な取り付けに起因する損傷は保証の対象外であることにご注意ください。



警告:

- 1.> 他の会社から天井マウントを購入された場合、プロジェクタの底面カバーと天井の間に10cm以上の間隔があることを確認してください。
- 2.> プロジェクタをエアコンやヒーターの傍に取り付けしないでください。プロジェクタに熱風が直接流れ込むと、故障の原因となります。

